

(様式2)

令和6年10月3日

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立木太南小学校
校長名 山崎 真紀子

公印
省略

令和6年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立木太南小学校
派遣内容	急な大雨・雷・竜巻が起こった際の防災対策の指導
日時	令和6年9月20日(金) 13:25 ~ 15:05
場所	6年生各教室
対象者 参加人数	児童数 106名 クラス数 3クラス 教職員 4名 その他 0名
内容・日程等	・大雨や雷、竜巻が起こった際の回避行動について学ぶ。 ・防災関係の情報をインターネットより収集する方法を学ぶ。
取組における成果	・大雨や雷、竜巻が起こった際に自分がどのように行動するべきか、どのような危険があるのか、クイズ形式で学ぶことができた。 ・学んだことと自分の日常生活とを比較して、今後の行動を見つめ直すことができた。 ・学んだことを家庭で話すことで、家族全体で大雨や雷などの対策について考える機会となった。 ・大雨などの災害情報をどのように集めるのか、インターネット上で実際に気象台ホームページを通して体験してみることで、自分で情報を集める方法を学んだ。
今後の課題	・より実生活や自分の行動につないでいく。 ・「雨が降ってから慌てて行動する」のではなく、「雨が降りそうだから、早めに帰ろう」というように危険を想定して動けるようになる。

注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。

【当日の写真】



【児童の振り返り】

大雨が降り、かみなりが鳴、ても、冷せいに今日言われたたくさんことを守、ていきたいなと思いました。時間が空いたら、こまめにキキクルなどを確認したいなと思いました。自分の身を守る行動の仕方をたくさん教えてもらったので、実際に災害が起きたときに活かしたいなと思いました。

大雨が降ったら、建物の1階以上で雨宿りして、たつまきがおこったら、がんじょうな建物にひなんして、まどからはなれたいと思う。大雨や雷、たつまきがおきたときのために、どこにひなんしたらいいか家族といっしょに考えたいと思、た。天気予報などを見て災害には気をつけたい。

私は、ふ、だん、あまり天気予報を見ついでなかつたので、天気のことからずいぶん外に出ていました。これからは、外に出るときには、天気予報を見るか、インターネットで調べるかして、大気の状態が不安定、「雷雨」などの言葉が出たら、十分に注意したいです。